

~守ろう子どもと妊婦!止めよう原発!~ =大集会=

映画

「希望の国」

上映会

突然訪れた不安、痛み、苦しみ、別れ、
ただ愛するものを守りたい

— 原発事故に翻弄される、どこにでもいる家族の物語 —

2013年

5月26日(日)

12:30開場 / 13:30開会 ~ 16:00閉会予定

群馬音楽センター

主催 憲法9条—世界へ未来へ北関東連絡会(北関東9条連)

連絡先/事務局 群馬県高崎市旭町190 TEL. 027(322)4803

同日開催!

☆震災復興支援

チャリティーバザー
12時~13時

☆守ろう子どもと妊婦!
止めよう原発!展示



映画「希望の国」あらすじ

—原発事故に翻弄される、どこにでもいる家族の物語—

東日本大震災から数年後の日本のとある町。小野家と鈴木家は隣り合い、つつましくも幸せに暮らしていた。ある日、大震災が発生、それにつづく原発事故が、生活を一変させる。原発から半径20km圏内が警戒区域に指定され、強制的に家を追われる鈴木家と、道路ひとつ隔てただけで避難区域となる小野家。そんな中、小野家の息子・洋一の妻・いずみが妊娠、子を守りたい一心から、放射能への恐怖を募らせていく。

—見えない戦争 ただ、大切なものを守りたい—

守ろう子どもと妊婦！止めよう原発！私たちの手で脱原発を実現しよう！！

＝開催にあたって＝

東日本大震災から2年を迎えました。被害状況は3月11日現在、死者15,882人（うち身元不明の遺体は132人）、行方不明者2,668人、避難生活による震災関連死も2,303人に上っています。また、避難者（民間賃貸住宅などで避難生活を送る人など）は315,196人となっています。被災地では、徐々に復旧・復興に向けて動き出しているものの今もなお、不自由な生活を余儀なくされています。

また、東京電力福島第一原発は、収束することなく現在においても大量の放射性物質を放出しています。福島県では18歳以下の3人が甲状腺がんと診断されるなど、免疫力がない子どもたちに容赦なく襲いかかっています。しかし、安倍首相は、原発新增設について原則認めないとしてきた民主党政権の方針を見直す考えを示しています。2月28日に行われた施政方針演説では、「原子力規制委員会のもとにおいて、安全性が確認された原発については再稼働する」と明言しました。しかし、このような中において、日本原子力発電敦賀原発2号機の直下には活断層が見つかり、廃炉の可能性が高くなっています。このことから原発の安全性は揺らいでいます。

さらに、安倍政権は「アベノミクス」と言われている経済政策や消費増税の実施、TPPへの交渉参加に向けた議論など私たちの命と生活を蔑ろにする施策を次々と打ち出しています。また、尖閣諸島問題や北朝鮮による核実験実施を通じて、中国や北朝鮮から脅威論を煽り、集団的自衛権の行使や自衛隊法の改正、そして国防軍の創設など、次期参議院選挙における選挙結果に基づき、その実現に向けて突き進もうとしています。まさに、2013年は、貧困と戦争への道、放射能禍、そして、弾圧化の中にあります。

北関東9条連は、「守ろう子どもと妊婦！止めよう原発！」を掲げ、継続してきた脱原発のたたかいをさらに強化し、反弾圧、消費税増税反対、TPP反対、憲法9条改悪に反対し、子どもたちが安心して暮らせる未来のために憲法9条を守り広め、脱原発を訴えていきましょう！

憲法9条—世界へ未来へ北関東連絡会（北関東9条連）